購読の申しこみは 日本医労連へ

年間1,500円(送料込) 購読料

(組合員の購読料は組合費に含む) 送金口座 中央労金荒川支店(普通預金)1123296 郵便振替 0 0 1 6 0 - 6 - 8 4 8 6 6

ホームページ http://www.irouren.or.jp/電子メール n-ask@irouren.or.jp n-ask@irouren.or.jp



医療・介護・福祉労働者の生活と権利、国民の命と健康を守る

1783号・1784号合併号 2022年8月11日

編集・発行

日本医療労働組合連合会

〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5 日本医療労働会館 3 階 TEL03(3875)5871

発行 毎月2・4木曜日

(昭和36年9月15日第三種郵便物認可)



第72回定期力

すすめられました。 2回定期大会 ○ 憲法をいかし、 医療・社会保障を拡充する政治へ転換させ 産別統一闘争の前進で、 国民のいのち・暮らし・平和を守ろう

あいさつする佐々木委員長

報告・方針提案と続き

りました。そのため、役員選 ロナ感染拡大に伴い、 山形)、高松栄次郎代議員 た。大会の様子は、YouT 票は事前に郵送で行いまし 挙および産別統一スト権の投 行委員長が開会を宣言し、議 ubeで配信をしました。 イン参加を交えての開催とな 大会は、吉田岳彦中央副執 (関

いさつをいただきました。 ・会計監査報告の後、 日本共産党から連帯のあ 全労連、

散会しました。

がら、2022年度の では、文書発言含め、 運動方針を提案。討論 たたかいを振り返りな 森田進書記長が1年の 第72回定期大会は、

けました。 きた運動に確信をもち、 触れながら、これまで進めて 織の拡大強化」などの課題に 働条件の改善の取り組み「組 障の課題」「大幅賃上げと労 あいさつ。佐々木委員長は、 続き奮闘しましょうと呼びか 「平和の取り組み」 「社会保 引き

執行委員長が閉会のあいさつ 選挙は全員が信任されまし 成で確立。産別統一スト権は、 をし、佐々木委員長のリー の賛成で確立しました。 156票(有効票数159票) による「団結がんばろう」 田中直光新中央副 役員

佐々木悦子中央執行委員長が 中央執行委員会を代表して

運動方針は、

〈採決結果〉

- ■22年度運動方針案一可決
- ■22年度予算案一可決

験など、活発な発言があいつぎ、産別運動前進への決意を固め合うものとなりました。

、工夫をこらした署名の取り組み、

組織拡大強化、

組合役員育成の経

地域

大会では、

開催された定期大会は、 7月19日~21日、

日本医労連は

「第72回定期大会」

を開催しました。コロナ禍のもとで

会場参加とオンライン参加の

併用で開催。2022年度の運動方針と予算を採択・確立し、新年度役員を選出しました。

東京・TFTビルをメイン会場に、

地域や仲間の応援を受けたストライキを背景に前進を勝ち取った経験や、

- ■22秋闘産別スト権―確立 (賛成156・反対3・白票0)
- ■共済事業方針案・予算案―承認



た。その後、森田書記 53本の発言がありまし

3面)、2022年度

長の総括答弁

(要旨は

予算の提案、共済事業

全労連 小畑雅子議長



住江憲勇 保団連会長







ありがとうございました

新しい仲間を迎えました!!

美和福祉労働組合

」梨県医労連加盟

医労連に美和福祉労働組合2022年5月12日、山梨

ン経営により、 利用 経営する法人です。

というず、最低人物により、利用者ファースない、自分(営利)ストな運営がされ、 大な運営がされ、

総括答弁

記

る諦めの感情も

題では、コロナ禍が長引く国民のいのちと健康を守る

ーで国民が苦し

最低賃

いに全労連全体の運動を引っいに全労連全体の運動を引っむ勝ち取っていく、社会保障も勝ち取っていく、社会保障も改善させていく、そのためも改善させていく、そのため

ように、この1年でいった所まで結びつ

結

運動

ĦIJ

J

ると同時に、方針が補強されました。の発言があり、この1年間の取り組みが報告され運動方針案に関連して53本(文書発言1本含む) 組みの報告があり

新型コロナ





いて発言があり

医労連

組織拡大・

共済推進

介護労働者の知

の早期達成

に、労働組合の見える化「休憩時間の確保」をテ常態化する介護現場に対不足から休憩時間の未取不足から休憩時間の未取

政治革新 憲法・平和

れさまで

「選挙を自分ごととして考えり組みとして、青年部役員会の組みとして、青年部役員会を議院選挙での県医労連の取参議院選挙・ 賃金闘争

スりの指 り、事前の投げ込みから、マの指名スト決行の報告があ青森からは、健生病院労組

写真右から

岡本 真奈美さん(全医労)

されました。加盟組織にに至る学習の取り組みが

栄次郎さん(関信・東京)

潤さん(東北・山形)

労働条件・ 働くル

2022年7月21日

日本医療労働組合連合会第72回定期大会

大幅増員



た。 政府を動かそうと訴えまし なよう17万医労連で声を上げ

女性・

青年分野

一部改正された医療法を受け、同10月施行の診療放射線け、同10月施行の診療放射における業務拡大にお技師法における業務拡大において問題提起がありました。 タスクシフトによる業務拡大に ない 対象職種のみならず、医療現場全体に関わる問題と指摘し、医労連に対し現場の意見集約と方針の具体化を求め見集約と方針の具体化を求め

医療・介護の実現安全・安心の社会保障の拡充

島根は、精神部会から、コロナ禍での現場の実態を通して精神医療の改善や運動の必要性について発言がありました。精神障がい者の人権と尊た。精神障がい者の人権と尊た。精神障がい者の人権と尊

0人超を集約し、結果は10月 で発表を予定しています。 青年協は、新歓パワーポイントの改定や全国で取り組ん だ最賃生活体験について報告 し、最賃生活体験の取り組み を幅広い世代に広げたいと語 りました。2023年の全国 アクトについては、現地への 休・生休・連休)アンケー月間で取り組んだ「3休 調査 間で取り組んだ「3休(年女性協は、22春の母性保護 系約し、結晶のいて報告。

特別決議

ロシア・プーチン大統領による 軍事侵略に乗じた大軍拡、憲法改悪を許さない ウクライナ侵略の即時中止・即時撤退を求めるとともに

への軍事侵略以降、いまだにロシア軍とウクライナ軍との戦 闘が続いています。プーチン大統領の軍事侵略行為は、国連 憲章にも、国際的な平和秩序にも反する行為です。また、プーチン大統領は、核兵器使用を示唆する発言を繰り返し、国 際社会を恫喝していますが、国際司法裁判所は、核の威嚇は国際人道法に違反すると判断しています。昨年1月に核兵器禁止条約の発効、今年6月には初の締約国会議の開催と、世界が核軍縮の流れをつくる中で、核兵器保有を盾に武力で他国を侵略・制圧するプーチン大統領の言動は、言語道断です。

日本国内では、今回の核保有大国による軍事侵略や、中国 の軍拡路線の脅威を国民に煽り、9条改憲や、核共有、日米 の軍事同盟強化、敵基地攻撃能力の保有を含むさらなる軍拡 「抑止力」強化の必要性を公然と主張する動きが強まっ ・ます。軍事力の増強は、周辺国を刺激し、軍事対軍事の 悪循環に陥り、戦争への危険をさらに高めるものです。核兵 器禁止条約第1回締約国会議に、米軍の「核の傘」の下にあ るドイツ、ノルウェー、オランダがオブザーバー参加した一 方で、日本がオブザーバー参加もしなかったことは、世界で 唯一の戦争被爆国日本として、姿勢が問われるものです。日 本政府に対しては、プーチン大統領の侵略行為、核攻撃を示唆する行為に断固抗議するとともに、憲法9条を活かし、非核三原則を堅持する立場で対話と協力をはじめとする不断の外交努力を強めることを求めます。

プーチン大統領の侵略という愚かな選択により、血と涙を流しているのは、国民であり、労働者です。世界中で、プーチン大統領に対し抗議の声があがり、ロシア国内においても、 多くの人が戦争反対を訴えています。

私たち日本医労連は、先輩たちの痛苦の経験から、 たび白衣を戦場の血で汚さない」をスローガンに、平和と医療・社会保障をまもる取り組みを重視してきました。このス ローガンの決意のもと、平和を求める世界の人々と連帯し、 ともに「プーチン大統領によるロシアのウクライナ侵略の即 時中止・即時撤退」の声をあげます。日本の大軍拡、憲法改 悪を許さず、現憲法が掲げる平和主義・立憲主義・民主主義 をまもるたたかいに全力をあげて取り組みます。 以上、決議します。

日本医療労働組合連合会第72回定期大会

共済活動を強化し 組織を大きく強くしよう

新歓での共済加入広がる

大会宣言

日本医労連は、7月19日から21日の3日間、東京都をメイン会場と

し、オンライン併用で、第72回定期大会を開催しました。大会には、

7 全国組合47都道府県医労連の代議員177名、特別代議員2名、執行部

・大会役員37名の計216名が参加、その他YouTubeでの傍聴参加 がありました。文書発言を含む53名の大会代議員からの発言によって 方針を豊かに補強し、平和と民主主義、生活と権利、医療・介護・福

今大会では、コロナ禍でさらに過酷となった医療・介護・福祉現場 の切実な実態、組合活動の困難さ、そしてそれを克服するための電闘 が同時に語られました。地域や仲間の応援を受けたストライキを背景 に前進を勝ち取った経験、処遇改善事業の不十分さを訴え、差別・分

断を許さない取り組み、最賃生活体験を通した賃金闘争、地域医療を

守るたたかい、SNSやハガキなど工夫をこらした署名の取り組み、 労働組合の見える化、組織拡大強化、組合役員育成の経験などが報告

されるとともに、政治闘争の重要性、産別結集の重要性が強調されま

いま、9条をはじめとした改憲、日本の大軍拡、核兵器の保有が主 張されています。軍事対軍事では平和はつくることができません。日 本国憲法が謳う平和的生存権は、戦争やテロ、暴力が飢餓や貧困を生みだし、一方で飢餓や貧困こそ戦争の原因となるという人類がたどってきた歴史に終止符を打とうという人類初の挑戦であり、まさに世界

の先頭を走っています。戦争に巻き込まれず、基本的人権を享受し、 安全・安心に生活できているのは、憲法の存在と人類のたたかいの成果です。悲惨な戦争の経験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚さない」と誓った医療自力として、「殺し、殺される。」は「ないない」となったと思さればいると思さればいる。

コロナ禍で医療・介護提供体制や社会保障の脆弱性が明らかとなり ました。今こそ、私たち医療・介護労働者が国民のいのちと生活を守 るため、地域や他産別とも共闘し奮闘しましょう。 8 時間働けば、ま

運動を広げ推進するためには、日本医労連の組織を強く大きくする

ことが不可欠です。2022年度は、第10次組織拡大強化3カ年計画の最 終年度です。患者・利用者に寄り添いたい、現場の想いに徹底して立脚し、圧倒的に未組織となっている全国800万人の医療・介護・福祉労働者に医労連の運動を知らせ、早期に組織数18万人を突破し、20万医

労連の達成を図るとともに、制度・政策に大きな影響力を発揮する強

いま、組合員の強固な団結によって、医療・介護・福祉労働者の生 活と権利を守ることと、国民医療の改善と社会保障制度の拡充のため

にたたかう日本医労連の基本路線は、いっそう輝きを増しています。 平和と民主主義を守り、社会保障の充実で、だれもが安心して生き、

働き続けられる社会にしていくために、今大会で決定した方針のもと、 さらなる団結と産別結集を強め、医療産別運動を大きく発展させるこ

憲法を守り生かす政治を実現するために奮闘しましょう。

ともに暮らせる社会を目指し、賃金闘争に奮闘しましょう。

祉・社会保障を守り、発展させる決意を固めあいました。

いて、組合員加入が掛金改定と事業報告では、加入推進につ

固な医療産別を建設しましょう。

とを決意します。 以上、宣言します。

会と新歓で加入推進

こ、単組支部での「共済・共済推進会議」での意・共済推進会議」での意

6千万円の給付超過になら千万円の給付超過にない報告されました。事とが報告されました。事とが報告されました。事とが報告されました。事とが報告されました。ケ損が報告されました。ケ損なった。

ことで、さらに国の制度政策のような組織勢力を実現するにしようではないですか。そ **恒さ、早急に8万人組織に増を変えるために奮闘する医労** に大きな影響力を持つ医労連 し、その先に100万人 、まずは20万人医労連を 、まずは2万人医労連を

と発展し していくことになり

脚から「いのち署名」の取り 組み、そしていのち守る緊急 行動、新「いのち署名」へと 行動、新「いのち署名」へと 行動、新「いのち署名」へと 発展してきた運動の推進体制 を発展させ、運動を大いに強 を発展させ、運動を表した。コロナ禍で不安や強度 に、関心が広がることは間違 いありません。ぜひ労働組合 いありません。でひ労働組合

滋賀県医労連・熊本県医労連《自動車共済・2組織》

織でもあるわけですから、大動ができやすいという産別組ます。国民の支持を受ける運

熊本2部門達成目標達成組織

度運用に則した条文^へ規約改定では、火[×] 完文への加筆修 火災共済の制

第7波の感染・給付状況に注視制度の安定にむけては、コロナどが呼びかけられました。また、どが呼びかけられました。また、 の検討や異常危険準備金の積みし、必要に応じたコロナ給付へ 未処理損失金の解消など

言請求が急増し、共済へには、コロナ第6波のと

提案が



中央副執行委員長 鎌倉 幸孝



央副執行委員長 渡辺 勇仁 長野•再 山形•再



央副執行委員長 吉田 岳彦 北海道•再



中央副執行委員長 直樹 花澤 全厚労・再





中央執行委員長 悦子 佐々木 全医労・再



中央執行委員 松尾 晃 全厚労・再



中央執行委員 森川 息吹 全医労・再



川上 真理 鹿児島•再



書記次長 米沢 哲 東京・再



書記次長 博敬 油石 北海道•再



書記長 森田 進 東京・再



田中 直光 熊本•新



央副執行委員長



中央副執行委員長 菅原 忠 全労災•新



中央副執行委員長 内田 博之 山梨·再



中央執行委員 寺田 雄 東京・再



中央執行委員 青山 光 東京•再



中央執行委員 哲哉 柏木 神奈川•再



中央執行委員 鈴木 寿子 岩手•再



中央執行委員 工藤 詔隆 青森•再



中央執行委員 松田 加寿美 北海道•再



中央執行委員 浅山 麻実 全労災•新



中央執行委員 大島 賢 全JCHO・再



中央執行委員 中村 健一 全日赤 • 再



中央執行委員 黒澤 幸一 北海道•再



中央執行委員 山崎 世理 書記局・再



中央執行委員 櫻井 順-書記局・再



中央執行委員 五十嵐 建-書記局・再



中央執行委員 保元 里美 福岡・新



中央執行委員 井上 純 徳島・再



中央執行委員 忠春 森本 岡山•再



坂田 政春 京都•再

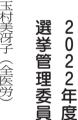


嵯峨 猛 石川•新

森田しのぶ(退任時:委員長) 22年度の顧問1名

2022年度 問 0 委

开樋口美香子(沖縄) 谷口考平(和歌山) 覚英征 (全日赤)





会計監査委員 藤田 省吾 埼玉•再



会計監査委員 畑中 剛喜 全厚労・再



会計監査委員 原 博文 全医労・再



中央執行委員 信悟 愛知•再



中央執行委員 寺園 通江 書記局•再



中央執行委員 英彦 愛知•再

第34期共済運営委員

監

事

運営委員長 副運営委員長 職

山内森崎田田

全JCHO病院労組書記長全日赤中央執行委員 日本医労連中央副執行委員長 **石川県医労連書記次**]城県医労連書記長 **旁災中央執行委** 厚労書記次長 **|本医労連書記** 葉県医労連書記長 海道医労連書記長 7委員長 長 委員長

ご苦労さまでした



中央執行委員 山口一秀

団体・個人から連帯のメッセー が届きました。 ありがとうございました。 日本医労連第72回定期大会に 全労連はじめ116の

連帯のメッセージ 大会に寄せられた

日本看護協会からのメッセージ

日本医労連第72回定期大会のご盛会を、心からお慶び申し上げます。

日本医労連の皆様が、患者の生命と健康を守るため、安心で安全な医療・介護 の提供を目指して、日夜現場でお力を尽くされていることに、心から敬意を表し ます。また、日頃、日本看護協会、都道府県看護協会の活動に対してご支援・ご

協力を賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。 また、2年余に及ぶ新型コロナウイルス感染症への対応にあたり、医療・介護 の最前線で、専門職として最善を尽くしてこられた皆様に、心から敬意を表し感 謝いたします。新型コロナウイルス感染症は、2年を経た今も、変異しながら世 界で感染拡大を繰り返しており、日本社会は、人々のいのち・健康をまもること を最優先としつつ、経済活動の維持・発展をいかに両立するかという課題と向き 合っています。

本会では、地域の様々な場所で、新型コロナウイルス感染症に対峙する看護職 の皆さまの安全と安心が確保されるよう、引き続き必要な支援を行っています。 また、コロナ禍で顕在化した様々な課題の解消に努め、看護提供体制および看護 のマネジメント機能をより磐石なものとするとともに、余力ある人員体制の構築 など緊急時への準備性を高めるよう働きかけを続けてまいります。

皆さまもご存知の通り、政府は、昨年末からコロナ禍における主要政策の一つ として、介護・保育・看護分野における処遇改善を打ち出しており、新型コロナ ウイルス感染症への対応と少子高齢化への対応が重なる最前線において働く看護 職等の収入の引き上げに取組んでいます。2月から9月までの補助金による対応 10月以降は診療報酬によって、 善に充てる原資が支払われることになりました。積年の課題である看護職員の処 遇に政策的な光が当たったことは画期的であり、高く評価するものです。しかし ながら今回処遇改善の対象となった看護職員は就業者の3分の1にすぎません。 コロナ禍にあって、医療施設や介護・福祉の現場、訪問看護など、それぞれの現 場で尽力されている看護職員をあまねく処遇改善の対象とするよう、本会は引き 続き関係方面に働きかけを行ってまいります。

各職場の労働条件・労働環境の改善は、それぞれの職場の労使による主体的な 取り組みによって一歩一歩進められることが期待されます。各職場での労働組合 の役割と責任は一層大きく重いものと、期待しております。

2年余に及ぶこの危機的な状況によって、改めて、看護職の果たす役割と重要 性に人々が目を向け、光が当たるようになりました。苦しい時間は続きますが、 日本看護協会は、この機運をとらえ、看護が一層の力を発揮できるより良い制度、 環境を築いていくため努力してまいります。国民の皆様の一層のご理解とご支援 を得るための取組みも欠かせません。ともに、未来に向けた歩みを進めて参りま

2022年7月19日

公益社団法人 日本看護協会 福井トシ子 会 長